



デスバレー国立公園にて

3年間にわたってアメリカ・メリーランド大学にてポスドクとして過ごしました。ここではそこの経験を紹介したいと思います。メリーランド州はワシントンDCに隣接する州のひとつです。ワシントンDCに近いという土地柄のせいか、様々な国から来た人(又はそのバックグラウンドを持つ人)が多い地域で、まさに人種のるつぼという言葉がぴったり当てはまると思います。ワシントンDCには数多くの政府機関、記念碑や博物館があり、これらが自然と融合した壮大な風景を作り出していて、観光地としても賑わっています。

さて私は材料化学におけるコンビナトリアル合成で第一人者であるProf. Ichiro Takeuchiのもとでコンビナトリアル手法を用いた酸化物薄膜の研究を遂行しました。3年間を振り返ると、英語環境という意味では苦労した経験を多く思い出します。あるsafety trainingでは全く何を言っているのかわからず3回受けてようやく許しを得た

ことを思い出します。私が特に問題だったと思うのは、考えている事や物事をきちんと説明できる会話力がなかったことです。これは日々の努力あるのみなのですが、私の場合は目の前にある物の説明を考慮することで改善を試みました。

この海外留学を通しての感想としては、実験技術面というよりはむしろ、コミュニケーションツールとしての英語やメンタリティーそして研究成果への積極性(貪欲さ)において多くの学ぶべきものがありました。これらは日本で研究をしていただけではわからなかったことで、海外留学のメリットだったように感じています。



リンカーン像



歴史的な積雪で雪に埋もれた私の車(左から2台目)。このとき人生初の雪かきと電気のない生活(2日間)を経験。



リンカーン像のあるところからキャピトルに向かって撮影。写真に見える塔がモネル。



行動派のルトウフィさんの普段の足は原付バイク。淀川の水を求めて大阪まで原付バイクを走らせたこともある。

優しい笑顔が印象的なルトウフィさんは、インドネシアのバンドゥンで生まれ育った。バンドゥンは四方を標高2000mほどの山々に囲まれた美しい町。熱帯にありながら涼しく過ごしやすい環境であるので、インドネシアの軽井沢とも称されている。

小さいころから自然の中で時間を過ごすことが好きで、近郊の山々をキャンプをしながら頻りに登山したそう。大学時代は地球温暖化に興味をもち、環境化学を専攻した。北大西洋や南極海で沈みこんだ海水が、約2000年で地球を一巡する海洋大循環は、地球温暖化の影響をうけて変化しつつある。ルトウフィさんは、まだ未解明な部分が多いそのプロセスを探求するため、海洋学で世界をリードする日本で研究したいと考えるようになった。



海外からの研究者

Researcher

文・広報室 武平 時代

環境物質化学研究系 水圏環境解析化学
助教(微量元素断層診断研究プロジェクト)

モハマト・ルトウフィ・フィルダウス
Mochamad Lutfi Firdaus

もともと行動派の彼は、思い立ったら即行動にうつす。それまで日本語を勉強したことはなかったが、英語のホームページをもつ日本の大学のウェブサイトを検索し、環境物質化学研究系 水圏環境解析化学研究領域(宗林研究室)ホームページにたどり着いた。「研究内容が希望にそっていたことも魅力でしたが、写真がとても美しかったです」とルトウフィさん。そうして、宗林教授に手紙を書いたことが、化学研究所へ来るきっかけとなった。

化学研究所で博士課程を修了し、2007年の10月からは微量元素断層診断研究プロジェクト所属の助教として3年間勤務する。2005年、学術研究船みらいによる西部北太平洋研究航海に参加した。独自に開発した分析法を用いて、海水中の微量元素Zr、Hf、Nb、Ta、Mo、Wの測定を行い、その鉛直分布を明らかにした。これは世界で初めての試みであり、海洋中の強配位子場元素の挙動解明への第一歩となった。昨年12月から1月には、学術研究船白鳳丸に乗船し、南



研究室の実験室で。則末和宏助教と一緒に

インド洋のモーリシャスから南極海に至る荒海で観測を行った。これは大洋診断を行う国際計画GEOTRACESに対するインドネシア人の最初の貢献である。

ルトウフィさんは今年9月、6年半の日本での研究者生活を終えて帰国する。来日当初は全くできなかった日本語も、インタビューに受け答えできる程に上達した。日本の印象は「水が美しく、紛争もテロもない安全な国。交通網がすばらしく発達していて、マナーもよい国」とのこと。バスが来るまで平気で1時間は待つというインドネシアの人々に比べ、時刻表通りに行きたい場所へ到着する日本人はどこか急いだ印象である。忍耐強く研究を進め成し遂げる力は、急がない心のゆとりと行動力から生まれるのだと、その優しい笑顔から感じとった。